

令和2年度第1回庄原市特別支援教育研修会

令和2年6月26日（金） 庄原市口和自治振興センター

特別な支援を必要とする児童・生徒の適正な就学指導及び特別支援学級における適正な教育課程編成と教科用図書を選定についての周知を目的に、研修会を行いました。

【講話】「特別な支援を必要とする児童生徒の適正な就学指導について」

広島県立庄原特別支援学校 中学部主事 佐藤 喜昭



- ◆幼保小中学校間で就学に関する連携等について、これまでの教育相談の経験から講話をいただいた。
- ・当該児童生徒の強みを生かした就学指導や進路指導を行う。当たり前前にできていることも、その子にとっては強みである。強みに指導者が気付くとともに、本人にも気付かせることが大切である。
- ・進学先の学校だけでなく、その先の進路（就職等）を見通した進路指導を行うよう意識する。
- ・他校種の学校の状況について、積極的連携により正確な情報を把握する。

【講話】「特別支援学級の教育課程の編成について」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 小谷 綾子



- ◆特別支援学級で、当該児童生徒の障害の状況及び発達段階に応じた教育課程を編成する際の留意事項等について周知・理解を図るため、講話を行った。
- ・教育課程編成に当たっては、当該児童生徒の実態把握を十分に行うことが重要である。
- ・実態に合った適切な指導が行われるよう、指導内容や時数、指導形態等に留意する。教科等を合わせた指導（生活単元学習、作業学習等）の内容や交流のもち方には、特に留意する必要がある。

【講話】「特別支援学級で使用する教科用図書の選定について」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 伊澤 知弥



- ◆特別支援学級で使用する教科用図書選定や事務手続きに係る留意事項等についての講話及び各学校で使用している一般図書の閲覧を行った。
- ・児童生徒の実態や教育課程と整合のとれた教科書を選定する必要がある。
- ・他校で使用する教科用図書（一般図書）を知ることにより、自校の教科用図書選定の参考にする。

【参加者の振り返りより】

- ・保護者連携の中で、強みについて話題にすることが少なかったことを反省した。強みを大事にすること、今まで以上に褒めることを意識していこうと思う。
- ・その子の実態に合った教育課程を編成していくためにも、実態把握を様々な人と行っていく。
- ・紹介してもらった本のうち、さっそく取り入れたいものがあった。